



学校だより

令和6年5月27日

東京都立石神井特別支援学校
校長 中島 由美子

清々しい新緑の候、日頃の御協力に感謝申し上げます。これからの季節、これまで以上に熱中症対策などを行いながら、引き続き安心・安全な学校生活の充実に努めてまいります。

豊かな体験的な学びを通して子供たちの生きる力は一層育まれています。5月2日には石神井消防署と地域の消防団員の御協力を得て、消防写生会を実施しました。小学部5・6年生が写生に取り組んだり、全校の児童・生徒も迫力のある消防車を間近に見学したり、消防士の方々と触れ合ったり、と貴重な体験をすることができました。〔写真①〕

また、昨年度からこの地域に本社を構えるタムラ製作所との交流を進めています。本校の児童・生徒の図工・美術作品等を社内に展示していただき、社員の皆様や来社された方々から心を和ませてくれる、と大変好評との声が寄せられております。〔写真②〕

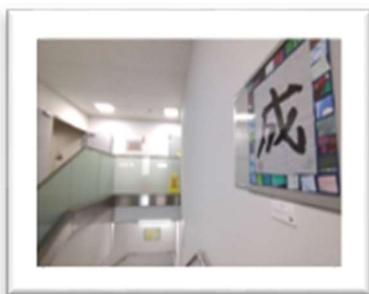
地域とつながりながら、持続可能な社会への参画として体験や活躍の場を広げていけるようにしていきたいと考えています。

4月中旬から保護者の皆さまへ、電子によるお便り等の文書配信をさせていただいております。電子化の利点を生かし、SDGsの取組として環境にも配慮した情報発信を今後も行ってまいります。

また、学校だよりでは全校や各学年の行事を中心に担当の教員からその取組を紹介していきます。今号では、中学部2年生の校外学習とオリパラ教育について紹介させていただきます。御覧いただきますようお願いいたします。

遊歩道 夏服姿の 子の笑顔

紫陽花や ひと雨ごとに 濃き青へ



②



①

■ 中学部 2 年 校外学習

5月16日(木)多摩六都科学館に校外学習に行ってきました。前日から天候が悪く心配しましたが、校外学習当日のバスで移動する時には、雨も止んでいました。

今回は、最初にプラネタリウムを鑑賞しました。幸運にも貸し切りで、星の解説を分かりやすく丁寧に行っていただきました。普段見ることのない星で埋め尽くされた夜空に生徒たちは心を奪われていました。館内はチャレンジの部屋、からだの部屋、しくみの部屋、自然の部屋、地球の部屋の5つに分かれ、たくさんの体験型の展示物がありました。生徒たちは、集合時間ぎりぎりまで興味をもって展示物を楽しんでいました。

ルールを守りながら、友達と楽しむという校外学習の目標を達成することができ、充実した中学部2年生の校外学習となりました。

(中学部2年担任 宮崎 光紘)



■ オリンピック・パラリンピック教育 ～東京2020レガシーの取組み～

本校では、パラリンピック種目のボッチャを通してレガシー教育の推進を図っております。その一環として、先日、全教員を対象としたボッチャ研修を行いました。今年度も東京パラリンピックボッチャ日本代表監督で本校の外部専門員でもある村上光輝先生に、「コーチングという視点から子どもたちへのアプローチ」について御指導いただきました。

～村上先生からの問いを一つ御紹介します～

「ボッチャとはどのようなスポーツですか？」と質問されたら皆さんはどのように答えるでしょうか？「赤ボール、青ボールのそれぞれのチームに分かれて、白いボールの周りにより多くのボールを集めるスポーツです。」と答える方が多いと思います。正しい回答は、白いボールを互いに動かしながらボールを集めて勝敗を決めるスポーツです。つまり視点を変えながら様々なアプローチをしていく頭脳的なスポーツなのです。これは、私たち教育現場でも繋がることで、子どもたち一人一人の個性を様々な視点から引き出し、より多くの達成感と経験を重ねる支援と同じなのです。今回の研修では、指導中の指導者の目線や必要な言葉掛けのタイミング、教材の提示の方法等たくさんのヒントを得ることができる研修となりました。日頃の支援に生かしていきたいと思います。

(中学部主任 猪狩 貴人)

